

参加無料

# 空の蜜をめぐるって

## ／カセットプラントワークショップ



日時：12月14日（土） 13:00～16:00

やまぐちけいすけ

講師：山口啓介氏（美術家）



©山元彩香

1962年生まれ。絵画、彫刻、インスタレーションとさまざまなかたちで作品を制作、国内外の展覧会に参加、発表。1997年ドイツで発案した《カセットプラント》はワークショップとしても展開。2002年西宮市大谷記念美術館、2003年高崎市美術館はじめ美術館等の個展多数。2013年瀬戸内国際芸術祭で香川県男木島に《歩く方舟》設置。近年は 2015年いわき市立美術館、2015-2016年豊田市美術館、2019年広島市現代美術館で三部作的な個展を開催。

会場：富山県美術館 3F アトリエ

対象：小学生以上（定員 20 名） 《事前申込制：電話にて先着順（11/1(金)～）》

透明なカセットテープに乾燥させた植物を入れ、樹脂を使って封印します。それらを数百個組み合わせ、美術館のガラス壁にタイルのように貼り付けて、植物によるステンドグラスをつくります。カセットプラントは、インスタレーション作品として12月25日まで館内展示を行います。

※植物は乾燥処理された特別な素材を使います。

※作品の持ち帰りはできません。返却も行いませんので、ご了承の上ご参加下さい。

※駐車場のご利用料金はご負担下さい（※当館駐車場：2時間以内無料、以降30分毎に110円ずつ加算）。

ワークショップに寄せて

透明なカセットケースの中に一輪の花や木の葉など植物を樹脂で“封印”して生まれる「カセットプラント」。それを数十～数百個、たとえば美術館のガラス壁にタイルのように貼り付けて、植物によるステンドグラスをつくる。あるいは、美術館所蔵の展示ケースに貼り付けて、箱状の作品をつくる。それは加納光於《アララットの船あるいは空の蜜》が箱状の作品で、「アララットの船」が「方舟」のことを指すことと同じように、植物を採集した方舟（箱船）なのだ。カセットケースの中の樹脂を透して浮かぶ花は、空の蜜のようでもある……加納作品を思いながらワークショップを開きます。（山口啓介）

お申込み・お問い合わせ先

富山県美術館（富山市木場町 3-20）

TEL 076-431-2711

※受付時間は 9:30-18:00（水曜日は休館になります）